

2学期始業式「あと1センチ」8/30

今日から2学期。台風が接近していて心配でしたが、元気に登校してくれて嬉しいです。この2学期も、命を大切に、安全を大切に、楽しい学校にしていきましょう。

さて、今年の夏休み、オリンピックは観ましたか？ 校長先生がすごいなあと思ったのは、金メダルとかではなく、どの選手も、勝っても負けても、前向きに受け止めていた、ということです。

結果に対して、言い訳や愚痴を言ったりしていません。誰かのせいや、何かのせいにしていません。すべて自分の実力だし、良い結果は自分以外の人たちのおかげ、たくさんの感謝の気持ちにあふれていたことです。

例えば、ボルダリングの森秋彩選手。最初のホールドがつかめず悔しい思いをしたはずです。あと1cmだったかもしれませんが、森選手は「自分のジャンプ力の不足です。もっと力をつけたい。」と、すぐに次の目標に向かっていきます。

卓球の早田ひな選手。腕を痛めていて満身創痍の中でも、決して怪我を言い訳にせず、絶対にあきらめず、最後の最後まで自分のプレーを貫いていました。

柔道の団体戦。対戦相手が上の階級だったり、最後の相手はルーレットで決まったりしましたね。でも選手たちは、真正面から受け止めて、勝つことだけを考えて戦っていました。

オリンピックは、そこまで努力してきた人たちだけに与えられる、とても素敵な舞台だったようです。

2学期は、運動会や音楽会などの大きな学校行事がたくさんあります。もちろん毎日の学習や活動もそうですが、それぞれ得意な子も、不得意な子もいると思います。結果ではなく、そこまでの取組を一生懸命楽しんでほしいと思います。

最後に、夏休み中や今、困っていることなどありませんか？ 一人で悩まないで、どんなことでも先生たちに相談してください。いろいろなお話ができると思います。